

「雪」を求めて

2月1、2日。全日本写真連盟関東本部の愛好家が
大挙して来市。そして、激写。

ほんやら洞は「十日町のPRになれば」と、西本町
周辺の青年会「稻和会」の人たちが、豪雪の中、夜な
べ仕事で協力しました。

写真家にとって、雪国の冬の行事や景色など、とに
かく「雪」は最高の素材の一つだそうです。

今月の 主な内容

- 克雷地域づくり……………2～3P
- 市議会のうごき
みる・あるく・きく……………4～5P
- 所得税、市・県民税の申告……………6P
- 日本食、栄養バランス世界……………7P
- たいいく・スポーツコーナー……………8P
- お知らせ……………9P
- 話題の人、大きくなあれ……………10P

豪雪

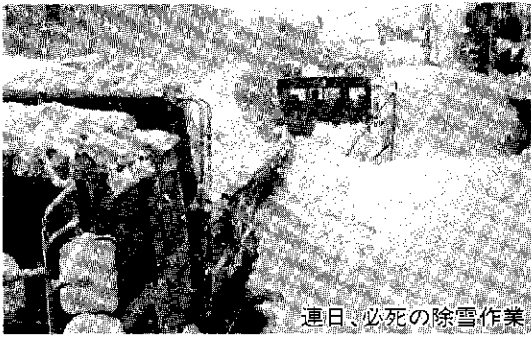
なればこそ

克雪地域づくり

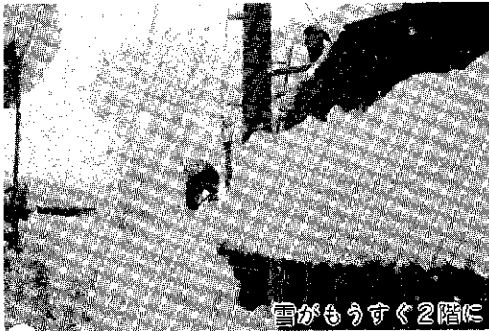
住民パワー

一月十一日に豪雪対策本部を設置。一時、小康状態で
 ほととじたのもつかの間、また降りやまぬ雪に、二十六
 日午前九時には十日町試験地で積雪三〇五センチを記録。市
 民生活の安定確保を図るため、正午には豪雪災害対策本
 部に切り替えました。そして、翌二十七日には県災害救
 助条例も適用され二年続きの大雪となりました。

この豪雪のため二十七日には願入で、雪崩により牛舎
 が全壊し肉牛が十二頭犠牲に。一月一日には雪ひ落しの
 作業中、一名の方が死亡するという事故が起きました。
 ここに住む限り、忘れていても雪は降ります。年々、
 除雪機械や各種装置も進歩しています。こうしたもの
 の力を借りながら、一方では一人ひとりの「克雪魂」を結
 集し、克雪地域づくりを進める必要があるのではないで
 しょうか。豪雪になればなるほど……。



連日、必死の除雪作業



雪がもうすぐ2階に



山田善太郎さん
(東枯木又)

道路確保が生命線

「道路パトロール、手不足の民
 家や公共施設の除雪、雪崩危険箇

枯木又地区

雪上車は地域の足



阿部文人さん
(東枯木又)

所の点検などが任務です」。冬期
 集落保安委員になって五年目。ま
 た七年目という枯木又除雪組合長
 も兼ね、雪に明け暮れる毎日とか。

「自分の屋根も、約一・五坪の
 雪を七回下ろしました。道路除雪、
 学校の雪下ろしと、人の家までは
 なかなか手が回らん状況です」。

夏場は車で三十分の市街地が、
 冬場は、新水発九時五分のバスに
 乗るために七時には家を出発。こ
 のため、病気か余程の用事のない

限りは閉じ込めになるそうです。

「とにかく道路確保です。ブル
 一台ではどうにもなりません。三
 十馬力位のロータリーがあればま
 だ苦しみずに済みませう。それで家
 の周りの排雪もできます。屋敷が
 広くても下ろすだけで手一杯なん
 です」。東・西枯木又で人足とな
 れる人は八人とのこと。

「余談ですが、街中の道沿いの
 雪積みを見るたびに、もし地震が
 来たらと思うとゾッとします」。

枯木又除雪組合の数少ない要員
 でもあり、道路除雪や学校等の雪
 下ろし作業もあります。

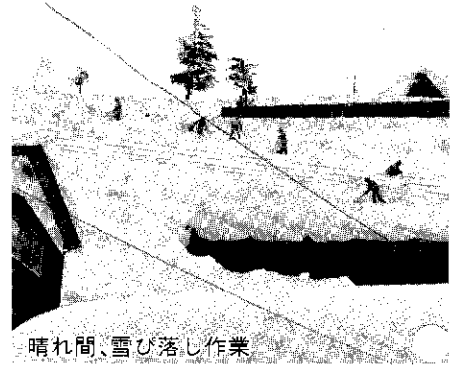
「この仕事は二年目。それまで
 は出稼ぎに行っていました。金銭
 を考えれば出稼ぎということにな
 りますが、「若い者がやらねば」
 毎朝そんな気持ちで起きています。

無雪にならない限り、雪上車は
 「私たちの足」ですからね。人命
 尊重を第一にがんばっています」。

「輸送の日、バスに乗れない人
 を病院まで送迎することもありま
 すから、そんな日は出ずっぱりに
 なりますね」。



道つけしても、すぐ雪が



晴れ間、雪び落とし作業

川治地区国道 機械排雪組合



遠田貞一郎さん
(川治上町)

国道機械排雪組合 を組織

川治上町、中町、下町の国道沿いの九十四世帯の人たちは、『川治地区国道機械排雪組合』を組織して、約一キロの道のりをダンプカーで排雪しています。

「冬になると道が狭くなり、困っていました。昨年、市と相談して、試験的に地元でダンプ費用の四割を負担する方式で排雪を行いました。約十萬円の地元負担となりましたが大助かりでしたね。」



雪の中、深夜まで続く排雪作業

市では、道路除雪費の負担の公平化を図るため、本年度から国・県・市道の排雪は、ダンプカー費用の四割を地元で負担してもらっています。

「今年もすでに二回行いました。国道でもあり人家も多いので、道路の確保は重要です。」

雪下ろしも、流雪溝使用も市民一人ひとりが、お互いにルールを守って、他人に迷惑のかけられないようにしたいものです。」

五軒新田



岩田市松さん
(五軒新田)

自前のロータリー で共同除雪

「あいにくの三年続きの豪雪ですが、この道路はきれいでしょ。道路沿いの人たちが、共同で買った小型ロータリー除雪機で、自力で除雪をしています。」



おらどこの道は、おらの手で

「四年前から、自分たちの道は自分たちで処理しようと、共同で買って始めました。今の機械は市の補助事業を利用して、去年の十二月に買い換えたものです。性能も一段とアップしましたね。」

本年度から始めたこの補助事業は——五世帯以上ある町内会などが共同で小型ロータリー除雪機を購入する場合、購入費の三〇%以内を補助する——ものです。

「約一〇分を、三十分から一時間でやれます。家の前に雪がなく、気持ち良く生活できるのがありがたいです。」

克雪対策を進めるためにも主要道路は県や市が行い、小路は町内や近所で機械を買って処理したらどうでしょう。この機械は操作も簡単で手軽に使えるので、排雪場所さえあれば大変に便利です。」

西小学校PTA



田村順一さん
(西本町1)

子供たちを 事故から守ろう

「三学期中『冬期登校交通安全指導』と名づけ、毎日欠かさず二人一組の父兄が交替で登校時に出ています。五十五年二月の児童の不幸な事故死をキッカケに、

父兄が自主的に始めたそうです。「高田町、越後交通の交差点など、交通量の多い五カ所の地点で行っています。一人の父兄が一年に三回程です。それから、あいさつ運動も合わせてやっていますので、おはよう、おはよう」と口の方も忙しいです。」

歩道を確保するために、各自の前はできるだけ除雪をしたり、道つけをすることを申し合わせているとのこと。

「自分で歩いてみると、とくに本町西線は、子供たちにとって大変だということが分かりますね。」

車が通るのを子供が待っているんです。ハネでびっしりですよ。歩道が確保されるようになるまでは私たちの責任でもありますが、運転手も子供に配慮してもらいたいですね。」



歩道はまるでラクダのせなか

第4回定例会

市議会第四回定例会は、昭和六十一年十二月二十四日から新年一月二十日までの二十八日間の会期が開かれました。

この定例会では「身体障害者福祉センター設置条例」、「市議会議員の定数を減少する条例の一部を改正する条例」など議案三十二件、請願三件、陳情一件、意見書一件が審議されました。一般質問には一人が質問に立ち、市長の政治姿勢などについて答へました。

市議会議員定数を26人に減少

議案

条例関係

■十日町市コミュニティセンター設置条例の一部改正……新座三、新座コミュニティセンターの設置（本年二月開館）に伴い「新座コミュニティセンター」を加えました。

■十日町市附属機関設置条例の一部改正……市史の



決算説明をする丸山市長

編さん、刊行についての審議等を行う「十日町市史編さん審議会」を加えました。

■十日町市国民健康保険条例の一部改正……助産費、一〇万円を「三万円」に、葬祭費・四万円を「五万円」に引き上げ、本年三月一日からの出産、葬祭に適用されます。

■十日町市身体障害者福祉センター設置条例……塚原町、十日町市身体障害者福祉センターの設置（本年四月事業開始予定）に伴い、条例を制定しました。

なお、同センターの事業開始により、現在ある山本一の「十日町市身体障害者福祉会館」が廃止され、高田町三西にある「十日町市精神衛生社会生活適応施設」に転用されることになりました。

す。

■十日町市一般職員の給与支給に関する条例の一部改正……給料表等の改正に伴い、一般職員の給与を平均五・四三％引き上げ、六月十年七月一日にさかのぼって適用されました。

■十日町市議会議員の定数を減少する条例の一部改正……現在の議員定数二十八人を、二人減らし「二十六人」にしました。この条例は、昭和六十二年四月に予定されている市議会議員の一般選挙から適用されます。

予算関係

■昭和六十年度一般会計補正予算の専決処分の承認……昭和六十一年十二月に行われた市長選挙の関係費用、

一般質問

- 大島 清松
- ・市長の政治姿勢について
- 三輪 定義
- ・政治姿勢並びに政策について
 - ・昭和61年度予算編成について
- 佐藤 一男
- ・昭和61年度予算編成方針について
 - ・国民健康保険特別会計について
 - ・進出企業について
- 大島 昭三
- ・市長の政治姿勢について
- 水野 寛男
- ・産業、雇用行政について
 - ・福祉関係について
- 佐藤 利雄
- ・水道事業について
 - ・保健行政について
 - ・教育行政について
- 竹内 真
- ・十日町市と国鉄との信濃川利水に関する契約について
 - ・当間地域開発について
 - ・市長選挙について

八七一九〇〇〇円を増額しました。

■六十年度一般会計補正予算……歳入歳出それぞれ一億四三六六万二〇〇〇円（児童措置費四〇六三万七〇〇〇円、道路除雪費七三五六万一〇〇〇円ほか）を増額し、総額を一一億七四一六万八〇〇〇円としました。

■六十年度の各特別会計補正予算……

○国民健康保険——二七一万四〇〇〇円（国保給付準備基金積立金ほか）を増額しました。

○下水道事業——一四二〇万円（排水設備等設置資金預託金ほか）を増額しました。

○老人保健——一四二万五〇〇〇円（医療費支給費ほか）を増額しました。

昭和60年のうごき

市議会の開催

(定)定例会 (臨)臨時会	本会議開催日数	議決件数	一般質問者数	請願の審査状況	陳情の審査状況	傍聴者数
3月(定)	7日	34件	15人	1件	—	111人
4月(臨)	1	7	—	—	—	16
5月(臨)	1	13	—	—	—	1
6月(定)	4	22	8	3	3	51
8月(臨)	1	3	—	—	—	—
9月(定)	4	22	5	2	—	99
11月(臨)	1	1	—	—	—	14
12月(定)	5	33	7	3	2	26
計	24	135	35	9	5	318

委員会の開催

委員会	開催日数
総務文教常任委員会	7日
建設企業常任委員会	12
社会経済常任委員会	12
苗場山ろく開発事業特別委員会	4
産業開発対策特別委員会	6
克雪対策特別委員会	3
水資源対策特別委員会	3
市議会議員定数条例審査特別委員会	4
予算・決算審査全員特別委員会	11

みる

あるく

きく

吹雪の中、鳥追いを



1月14日、江道・猿倉地内では鳥追い行事が。洞の周りを回りながら歌を、そしてもちつきを。元気一杯の子供たちもこの吹雪にはまいった様子でした。

『おらがうらの』元気な歌声が

エレベーター、展望窓も完備

県下初の身障者福祉センターが完成



十日町市、川西町、津南町、中里村を範囲とする「十日町市身体障害者福祉センター」が塚原町に完成。1月24日に竣工式が行われました。

4月1日開所予定。つつじ工房、つくし園の人たちが訓練に通うほか、在宅障害者のデイ・サービス、障害者団体の育成、ボランティアの養成等、障害者の地域参加を目指した事業が行われます。

- 敷地面積 2,121.71㎡
- 鉄筋コンクリート造3階建 (延床面積 598.60㎡)
- 1F……相談室、作業室、調理室、ボランティア室
- 2F……図書室、集客室、訓練室、研修室
- 3F……ホール
- 総事業費 1億4,800万円

国土庁が異常降雪を視察



学校町で流雪溝を見る糠谷課長(中央)

四全総への
もり込みを強く要望

1月22日、国土庁計画調整局(団長・糠谷真平計画課長)の視察団が、十日町市の融雪屋根実験棟、流雪溝、道路除雪等の克雪対策、西浦町など市街地の豪雪状況を視察しました。

この視察は、第4次全国総合開発計画の策定作業を進めるために行われたもので、20日から22日の3日間、本市をはじめ10市町村にわたりました。

丸山市長を先頭に案内、現状を説明。克雪対策を四全総の中にもり込んでいただきたいと、強く要望しました。

■六十年度水道事業会計補正予算……浄水場建設に伴う関係費用、三五万円を増額しました。

■六十年度一般会計、各特別会計、水道事業会計の補正予算……「十日町市一般職員の給与支給に関する条例」の一部改正に伴う給与の引き上げなどにより、それぞれ合わせて二二八四万三〇〇〇円を増額しました。

その他

■市道の廃止……浅河原

た農地農用施設の災害復旧事業の応急工事計画(四十六箇所)を決めたことにより、歳入歳出それぞれ一億五七二四万円を増額し、総額を一一億四一九五万八〇〇〇円としました。

■昭和五十九年度一般会計、各特別会計の決算認定……五十九年度一般会計、各特別会計の決算を、それぞれ認定しました。

北笠坂線ほか二路線を廃止しました。

■市道の認定……八分島線ほか三路線を認定しました。

■土地の買入れの変更……十日町市総合公園用地の昭和六十年年度買取地を三十五筆、一九、三七五・六一平方メートル増やし、合計六十四筆、三八、〇六七・六一平方メートルとしました。

■人権擁護委員の推薦……武田文雄氏、小林賢秀氏の推薦に同意しました。

意見書

■市立南中学校特別教室棟の改築について……採択

■昭和六十一年産米の良質米奨励金の現行確保について……採択

■昭和六十一年産米の良質米奨励金の現行確保について……原案可決

請願



田川取水場にて

市議会ミニだより

視察 市内各所の豪雪状況を

一層の克雪都市づくりを進めるため、克雪対策特別委員会(遠田金市委員長)では1月29日、昭和町、七軒町、西浦町、宮下町等のうず高く積もった雪の道、田川取水場、学校町の雪崩危険箇所など、市内各所の豪雪状況や除雪作業振りをつぶさに見て回りました。

所得稅 市・県民稅

の申告時期です

3月15日まで



昭和六十年分の所得稅、市・県民稅の申告は、二月十七日から受け付けが始まります。申告期限は、三月

市・県民稅申告相談日程表

月日	時 間	申 告 会 場
2月17日 3月15日	9:00~4:00 (土曜日は12:00)	十日町市役所(市民ホール) ※日曜日は除きます。
2月27日	10:00~2:00	美佐島地区管理センター(赤倉)
	9:30~12:00 1:30~4:00	二ツ屋公民館 羽根川庄
2月28日	9:30~3:00	下条出張所
	10:00~2:00	生活改善センター(渡野)
3月4日	10:00~2:00	鉢ふるさと会館
	9:30~3:00	山谷集会所(吉田)
3月10日	9:30~3:00	馬場集会所
3月11日	9:30~3:00	水沢出張所
3月12日	9:30~3:00	中条公民館
	10:00~2:00	克雪管理センター(新水)

十五日です。(贈与稅の申告は、二月一日から三月十五日までです)

- ◎申告をしなければならぬ人(所得のあった人)
- ① 営業、農業などの事業を営んでいる人
- ② 地代、家賃、配当などのあった人
- ③ 給与所得者で、給与以外の所得があった人

④ 給与所得者で、二カ所以上から給与の支払いがあった人

⑤ ①④以外の所得のあった人
※所得……一年間にあげた収入金額から、その収入をあげるために必要な経費を差し引いたもの。

◎收支の記帳について
営業、農業などの事業を営んでいる人は、収入金額と必要経費が所得計算の基本ですので、必ず記帳するように心掛けてください。

◎市・県民稅の申告書は、市政事務嘱託員を通じて配布します。

申告書の「用紙」と「手引」を配布します。該当事項をもれなく記入し、提出期限までに市役所または市政事務嘱託員に提出してください。

◎記載方法の相談は
日程表のとおり申告相談を実施しますので、最寄りの申告会場か市・稅務課へ

おいでください。

◎申告書が必要な方は
市・稅務課または各地区公民館(出張所)にありますのでご利用ください。

◎所得稅の確定申告をした人は、市・県民稅の申告書を提出する必要はありません。

◎所得稅の確定申告をする
と税金が戻ると
源泉徴収された税金、予定納稅した税金が納めすぎになっている人は、還付を受けるための申告書を提出してください。この申告書は二月十七日前でも受け付けています。



① 多額の医療費を支払った人……支払った医療費が所得の五%か五万円のどちらか低い方の金額を超えているとき。

固定資産課稅台帳の縦覽

昭和六十一年度固定資産稅の課稅台帳を、つきのとおり縦覽します。

●縦覽場所 市・稅務課

●期 間 三月一日(土)と二十日(木)
(日曜日、祝日を除く)

●時 間 平日 午前八時半~午後五時
土曜日 午前八時半~正午

なお、課稅台帳の登録事項についての審査申出期間は、縦覽の初日から末日後十日までの間で、つぎに該当する場合に限られます。

- 昭和六十年中に土地の地目変更などがあった場合
- 昭和六十年中に家屋の新・増築、取りこわしがあった場合

●昭和六十一年度分として價格が決定された償却資産

※市稅全般について、聞きたいことや不明の点がありましたら、この期間に限らずお気軽にご相談ください。

☎五七三二二一(四)二二二一~二七

- ② 災害や盜難にあった人
……その損失額が所得の一〇%を超えているとき。
- ③ 雪おろし経費などがあった人……その経費が五万円または所得の一〇%を超えているとき。
- ④ 住宅を新築したり、購入(中古住宅を含む)した人
……所得が八百万円以下で自分が住むために取得した人は、三年間にわたる稅額が控除されます。
- ⑤ 年の中途で退職し、年末調整を受けなかった人
※①④の場合、その証明書もしくは領收書等、確認できるものが必要です。

2月は、国民健康保險料第8期分(60年度の最後)の納付月です。

日本食 栄養のバランスは世界一です

外国が日本食を注目しています

「ごはんを主食とする『日本型食生活』が外国でも注目されています。テレビ等で、外国の日本食レストランやすし屋がにぎわっている様子を見たことがあるのではないだろうか。

なぜかというところ、①栄養のバランスが良い②健康面にもすぐれている——からです。

食生活の洋風化が成人病の一つの原因です。不思議と外国人には太った人が多く、また成人病の人も数多くいます。これは、食生活が原因と言われています。

最近、日本でも成人病が

大きな問題になっていきますが、これも食生活の洋風化、多様化による栄養のアンバランスが原因の一つと言われています。

「ごはんは多くの栄養を取ります」

人間の体はいろいろな食べ物から、いろいろな栄養がバランス良く取られてこそ、健康を保つことができます。

「ごはんは味が淡白なせい、塩味、苦味、甘味、辛

「今日は何にしよう。」そんなときは、つぎの表の六つの食品群のうちから、少なくとも一―二品ずつ以

6つの基礎食品

食品の類別	食品の例示
1群 魚・肉・卵	魚、貝、いか、なまこ、かに、かまぼこ、ちくわ、鶏肉、ハム、ソーセージ、豚肉、うずら卵、鶏卵、大豆、納豆、生揚げ、がんもどき
2群 牛乳・乳製品	牛乳、スキムミルク、チーズ、ヨーグルト
3群 豆	大豆、豆、納豆、生揚げ、がんもどき
4群 牛乳・乳製品	牛乳、スキムミルク、チーズ、ヨーグルト
5群 緑黄色野菜	ほうれん草、ほうろく、ごぼう、かぼちゃ
6群 そのほかの野菜	だいこん、はくさい、キャベツ、きゅうり、りんご、なし、ぶどう、いちじく
7群 果物	だいこん、はくさい、キャベツ、きゅうり、りんご、なし、ぶどう、いちじく
8群 米・パン・めんも	飯、パン、うどん、そば、スパゲティ、きつねうどん、しゅうまい、さといも、はちまき、菓子など糖質含量の多い食品をさし
9群 油	ごま油、菜種油、サラダ油、ラード、バター、マーガリン
10群 脂	ごま油、菜種油、サラダ油、ラード、バター、マーガリン

上を組み合わせてみてください。栄養のバランスを取ることが出来ます。

「頭を使うことは頭の訓練です」

「頭を良くするには指先を動かせ」と言われています。はしていろいろな食べ物を摘まむことは、手先の器用さ、頭の訓練にもつながっています。

味、酢味、油味の何でも合

改正年金シリーズ7 昭61.4.1から



遺族基礎年金

遺族基礎年金は、公的年金に加入している人が死亡したとき、その人に扶養されていた十八歳未満の子供（身体障害の子供は二十歳未満）のある妻、または十八歳未満の子供（身体障害の子供は二十歳未満）に支給されます。

現行の母子、準母子年金

基礎年金をもらうには

では、支給を受ける妻の保険料納付が問われますが、新しい制度では、「死亡者」の保険料納付が問われます。

◎受給に必要な期間

死亡者の保険料納付期間（保険料の免除期間を含む）が、加入期間の三分の二以上あるか、または年齢基礎年金の受給資格を満たしていなければなりません。

◎年金額

つぎの表のようになります（金額は年額です）。

区分	基本額	加算額	合計	
妻	子供が1人いるとき	60万円	18万円	78万円
	子供が2人いるとき	60万円	36万円	96万円
	子供が3人いるとき	60万円	42万円	102万円
子供	1人のとき	60万円	—	60万円
	2人のとき	60万円	18万円	78万円
	3人のとき	60万円	24万円	84万円

（注）3人目からは、1人につき6万円が加算されます。

すでに、母子、準母子および遺児年金を受けている人も、年金額は遺族基礎年金額と同じになります。

※金額は、すべて五十九年度価格です。

61豪雪被災者 電気料金などの特別措置を行います

今冬の豪雪により、家屋が倒壊したなどの被害を受けた方に対して、つぎのような特別措置を行いますので申し出てください。

◎電気料金の

早期期間の延長

一・二月分の電気料金の早期料金適用期間をそれぞれ一か月延長します。

◎不使用月の

基本料金の免除

被害を受けた時から七分までの間において、電気を使用しない場合は基本料金を免除します。

◎工事費負担金の免除

被害の復旧後、同じ契約内容で七月末までに電気の使用を申し込んだ場合は、工事費負担金を免除します。

◎臨時工事費の免除

被害の復旧のため、七月末までに臨時電燈・電力の使用を申し込んだ場合は、臨時工事費を免除します。

◎使用不能設備の

基本料金の免除

電気施設の一部が使用不能となった場合は、その使用不能設備相当分の基本料金を七月末まで免除します。

お問い合わせ

東北電力㈱十日町営業所 五二一三二〇七

たいくスポーツコーナー

総合体育館(体育課) ☎52-4377 西本町1
市民体育館 ☎57-5208 学校町1

スポーツ健康都市宣言
楽しもうスポーツ つくろう健康

学校施設を開放

利用申し込みは

3月1日(土)まで

小・中学校の体育施設を、学校教育に支障のない範囲で開放します。

*開放校

- ・中学校……十日町、南、中条、吉田、下条
- ・小学校……十日町、西、中条、東、鎧島、飛渡第一、六箇、八箇、東下組、馬場、川治、水沢、名ヶ山、野中

*利用者 原則として、市内に在住・在勤する人が10人以上で構成する責任者が明確な団体。

*申込先 利用を希望する団体は、3月1日(土)までに体育課へ。申込用紙は体育課にあります。

2月の体育施設*

無料開放日は22日(土)です

新設 法人・家族会員募集

十日町体力つくりスイミングスクール
☎58-3343

新しく法人・家族会員制ができました。会社、そして家族ぐるみでの健康づくりにご利用ください。

会費など——

年間会員 1年間・50,000円

半年会員 半年間・30,000円

(いずれも無記名の会員証を5枚発行しますので、いつでも5人の方が自由に利用できます)

保険料 1,500円/申込時のみ

利用料 1回 200円/1人

《利用時間》

日	月	水	金	土
午後1時	午後1時～2時			
午後4時	午後7時～8時45分			

トレーニング実技講習会

さわやか健康
DO SPORTS
いい汗ながそう——

日時 → 2月19・26日、3月5・12・19日の各水曜日 (5回)
→ 午後7時30分～9時30分

会場 総合体育館

申込先 2月17日(月)までに総合体育館へ。

※詳細は市報4号をご覧ください。

全国大会出場 十日町スキー選手団

第23回全国中学校スキー大会

※2/6～7 ※妙高高原町

※距離 男子……大嶋次郎(十日町) 女子……桑原弥生(十日町)
関口満恵(古田) 春日恵美子(南)

※回転 女子……倉沢明里、堀口千恵子、小林里美(いずれも南中)

※大回転 女子……倉沢明里、倉沢香里(いずれも南中)

第35回全国高等学校スキー大会

※2/6～7 ※長野県白馬村

※ノルディック 男子15km……佐藤昭則(十日町) 柳博文(十実)
女子10km……阿部淑恵、千原美子、岩田晃子(いずれも十日町高)
水落麻理子、池田麻子、春日和美、(いずれも十実) 岩田敏恵(小千谷西) 福島知子(川西)

※複合 生越靖、小林守(いずれも十実)

第41回国体冬季大会

※2/6～23 ※北海道倶知安

※ノルディック
〈男子15km〉 少年の部……佐藤昭則 成年3部……品川達平
〈女子5km〉 少年の部……岩田敏恵、阿部淑恵

※アルペン(大回転)
少年男子……湯川日出夫、本間大
成年男子1部……滝沢一彦
成年女子1部……諸里真紀子



皆さんも市報づくりに
参加しませんか



“市報とおかまち。は、市で今やっている仕事、これからやろうとする仕事、また街の話題などを皆さんに広く知っていただこうと、10日と25日に発行しています。

皆さんの身近にもいろんな出来事や市の仕事のこんなことを知りたいなど、たくさんのお話、意見があるかと思っています。そうした話

題や意見をお寄せいただき、皆さんと一緒に作った市報づくりをと考えています。

例えば、掲載中の「話題の人、大きくなあれ(10日) 十日町の人(25日)」、また地域の行事や活動、市のあの仕事はどこまで進んでいるのかなど……。どしどしお寄せください。

——総務課企画広報係

☎213・214

下水道受益者負担金 **お忘れなく**

第4期・下水道受益者負担金の納期——2月15日(土)～28日(金)——が近づきました。納期内にお忘れなく納めてください。

——下水道課☎252——

2月 交通安全キャンペーン



シートベルト
100%着用運動

2月1日(土)～3月31日(月)

あなたのいのちを守ります
今日からさっそく実行しましょう

正しく締めましょう!

- ・肩ベルトは肩から外れず、また首にあたらず、肩の中央にくるように。
- ・ベルトはねじれないように。
- ・腰ベルトは腹にかからないように。
- ・バックルは“カチッ、と音かするまで確実に。

1月の交通事故発生状況 ()は60年

市町村名	発生件数	傷者数	死者数
十日町市	4(6)	5(7)	0(1)
川西町	2(0)	5(0)	0(0)
津南町	1(0)	1(0)	0(0)
中里村	1(0)	1(0)	0(0)
小計	8(6)	12(7)	0(1)
累計	8(6)	12(7)	0(1)

ちびっこ探険学校*ヨロン島

春休みは、探険学校に参加してみませんか。

南の小さなサンゴ礁の島“ヨロン島。——美しい自然、ふだんの生活では体験できない世界、新しい仲間が待っています。

期日 3月26日(水)

～4月2日(水)、8日間

場所 ヨロン島と沖繩

対象 小学校3～6年生の男女

参加費 79,500円(別に教材費、事務連絡費として1万円)

締め切り 3月12日(水)

申込先 (財)国際青少年研修協会

(〒160 新宿区四谷2-11

大村ビル ☎03-359-8421)

雪まつりテレビ放映

TNN(日本テレビ系)

2月15日(土)午後4時～4時55分

寄付ありがとう

12月26日～1月25日

<社会福祉事業>

▶岡村建治 1,000円 ▶高橋

790円 ▶佐野写真館 衣類

▶稲和会 1万円……つくし園、な

かまの家へ ▶波形賢治(魚之田川)

機能訓練用くさび2台……保健セン

ターリハビリ室へ

▶本田欣二郎 10万円 ▶創価学

会十日町本部 127,074円

瓢湖探鳥会と野鳥の集い

◆日時 2月23日(日)

午前10時～午後3時

◆場所 北蒲原郡水原町

探鳥会……瓢湖

野鳥保護の集い……町民憩の家

◆申込方法 はがきに住所、氏名、電話番号を記入して申し込んでください。

◆申込先 新潟県環境保健部環境保全課鳥獣保護係(〒950 新潟市新光町4-1 ☎0252-85-5511☎2699)

作業停電

◇…一部区域 ◆…全部区域

2月21日(金)午前9時～正午

◇高田町3西、丸山町の各一部

◆高田町3東・3南の全部

2月27日(木)午前9時～正午

◆二ツ屋の全部

▶新川屋建設工業(株) 100万円

▶都市チャリティーコール実行委員会 119,043円……以上身障者センター…基金へ

<歳末たすけあい募金>

▶関浅カラオケ愛好会 5,179円

▶長助お客一同 8,899円 ▶ボー

イスカウト十日町第1団 25,014円

<交通遺児等援助基金>

▶一力食堂お客一同(稻荷町2)

5,400円

第5代 ミス十日町雪まつり

——よろしくお願ひします——

第5回ミス十日町雪まつりの審査会が1月26日にクロス10で行われ、参加28人の中から3人の第5代のミス雪まつりが選ばれました。

8日、コミュニティ広場での雪まつり開会式で第4代のミスからバトンタッチされた3人は、これから1年間、市の観光行事に、また県内外の催事に参加し“雪ときものまち”のPRに活躍することになります。



福原 芳子さん

(21歳 四日町新田3)

①藤ノ木歯科技工所

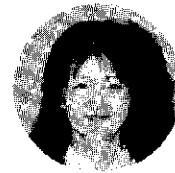
——青春の思い出にと応募しました。十日町のPR、また自分の成長にもプラスさせたいと思います。

桑原 美佐子さん

(23歳 山本3)

②津南町立外丸小学校

——おばさんのすすめです。子供たちもよろこんでくれました。子供たちの期待を裏切らないようがんばります。



阿部 由美子さん

(21歳 本町7-1)

③滝匠株式会社

——ミスにあこがれていました。うれしいです。いろいろ勉強もし一生けん命がんばります。





人口のうごき

- 人口 48,322人 (-4)
 - 男 23,741人 (±0)
 - 女 24,581人 (-4)
 - 世帯数 12,359 (-7)
- <1月31日現在・住民基本台帳>



僕はおばあさんの肩たたきをしました。顔がうまくてきました。「気持ちがいいね。またお願いするわ」と言いました。

じょうだつ 献血だぞ!



尾身 孝幸くん (鑑島小6年)



高橋 直子さん (鑑島小2年)

日曜日の晴れた日、スベリ台を作りました。お姉ちゃんが滑ったところです。動きを表わすのがむずかしかったです。



話題の登場人

愛の献血

52回を数える

高橋 芳邦さん

(稲荷町西・36歳)

—14—

年々献血をしてくれる人は、増えていますが、血液の需要は疾病の増加、交通事故などでいつも足りない状況です。

市内にはたくさんの方の協力している人がいますが、そのひとり高橋芳邦さんは、「おばあちゃんが昭和四十七年病気で手術した時、大量の血液を必要として困りました。入院先でその血液は献血手帳で返してほしい」と言われ、そのことがきっかけで五十二回を数えるようになったという。

「職業がらケガ等の危険が伴い

ます。いつ必要に迫られるかわかりません」。仕事で市外に出張中、ゆうあい号を見かけると時間をいいただき献血に協力することもあるという。

「わたしの会社でも、一〜三回は献血している人がいます。昼休み時間にすることができるよう、配慮していただければもっと協力者が増えると思います。

今後は百回を目標に健康である限り続けたいと思います。」

両親、奥さんと子供一人の献血一家です。



鬼は外・雪も外!



アーケードを逃げ回る鬼たち

2月3日は節分の日。駅通りのアーケードにも、赤鬼と青鬼が午後3時、5時、7時と出没。お客さんの投げた豆にたまらず悲鳴をあげていました。

これは、駅通り商店街の人たちがお客さんとのコミュニケーションを図ろうと、また豪雪を吹き飛ばそうと計画したものです。

「大雪で商売も大変。だからみんなのエネルギーが必要なんです」とは、ある鬼の話でした。

■No.14■

大きくおれ

ひろあき 馬場 大陽くん (10ヵ月)

馬場康夫・一枝さん(魚之田川)長男

僕、ひろあき。お父さんが「大きく、明るい子になるように」とつけたんだ。生まれた時、3.6キロだって。何でも食べるし健康だよ。雪になる前は、町内一周の散歩をおばあちゃんと毎日したよ。早く春にならないかな。

「名前のように、伸び伸びと素直な子になって」とお母さんは言ってるヨ。



お風呂はいつも、おばあちゃんだよ

編集室から

今年も大雪になりました。連日連夜の排雪作業にもかかわらず、道路のスムースな確保は難しく各所で渋滞や立往生の車、そしてわずかな端を歩く人々の姿が目につきました。

屋根雪を下ろした後、玄関前は

きれいになってきているのにあとはそのままといった、こんな光景も加勢したのではないのでしょうか。下ろした雪をすべて人力で片づけることはできないにしても、少しでも道路を広くする、そんな姿勢も必要なのではないでしょうか。

何日か豪雪状況を見て歩き、ふとそんな思いがしました。